

2015年4月1日～2018年3月31日の間に 当院ICUへ入室された患者様及びそのご家族の方へ

—「当院におけるICU再入室リスク因子、リスク因子を有する退室患者の継続看護につ
いて」へご協力をお願い—

研究機関名 岡山大学病院
研究機関長 岡山大学病院長 前田 嘉信

研究責任者	岡山大学病院 新医療研究開発センター	助教	難波 志穂子
研究分担者	岡山大学病院 看護部	看護師	石井 かのう
	岡山大学病院 看護部	看護師長	服部 芳枝
	岡山大学病院 看護部	副看護師長	金 只 共 世
	岡山大学病院 麻酔科・蘇生科	教授	森 松 博 史
	岡山大学病院 集中治療部	助教	鈴木 聡

1. 研究の概要

1) 研究の背景および目的、予想される医学上の貢献及び研究の意義

一般的にICU再入室率は4～14%程度と言われており、当院でもベッドコントロールの関係で状態が落ちていない中で病棟へ退室せざるおえない患者様やたくさんの看護介入を要する患者様が病棟へ退室する現状があり、その様な背景もあり、一定数でICU再入室となる症例があります。そのため、必要な観察やケアをICUと病棟間で共有し、継続的な看護ケアを行う事が求められています。

そこで、①当院での2015年4月1日～2018年3月31日の3年間にICU入室患者様と再入室患者様を対象とし、②患者様の歳、性別、診療科、原疾患、基礎疾患、ICU入室理由、ICU退室時間、ICU入室時と再入室時の重症度スコア、入室日数、行われていた看護ケア、再入室患者様の看護記録から看護問題や看護ケア・観察内容を収集し③ICU入室した患者様と再入室した患者様で②のデータを比較することで④ICU再入室リスク因子や傾向、現在当院では再入室の原因に対してのどの程度適切な看護介入がICUと病棟間で行えているのか、また、継続的に行えているのかを明らかにする事を目的とします。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

2015年4月1日～2018年3月31日の間に岡山大学病院ICUに入室した方を研究対象とします。

2) 研究期間

2019年9月倫理委員会承認後～2026年3月31日

3) 研究方法

2015年4月1日～2018年3月31日の間に当院ICUに入室した患者様で、研究者が診療情報から分析・考察を行います。

4) 使用する情報

この研究に使用する情報として、カルテから以下の情報を抽出し使用させていただきますが、氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できる情報は削除し使用します。また、あなたの情報などが漏洩しない

ようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

- ・患者様の歳、性別、診療科、原疾患、基礎疾患
- ・ICU入室理由、ICU退室時間、ICU入室時と再入室時の重症度スコア、入室日数
- ・再入室者の看護記録から看護問題や看護ケア・観察内容
- ・血液検査、CT検査、MRI検査、胸部レントゲン検査、脳波検査

5) 試料・情報の保存、二次利用

この研究に使用した情報は、研究の中止または研究終了後5年間、岡山大学病院内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。なお、保存した情報を用いて新たな研究を行う際は、倫理委員会にて承認を得ます。

6) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等（父母（親権者）、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの試料・情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申し出ください。ただし、すでにデータが解析され、個人を特定できない場合は情報を削除できない場合があります。ご了承ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様にご不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・連絡先>

岡山大学病院 総合診療棟 ICU

氏名：石井 かのう

電話：内線番号 7733